



2019年度実績と2020年度計画

2019年度実績

2019年度を振り返ると、米中対立を契機とした2018年度後半からの世界的な製造業の不振の影響を徐々に受けつつも、わが国の経済は、年度前半は緩やかな回復基調で推移しました。しかし、昨年10月の消費税率引き上げや自然災害等の影響により経済活動が減速、更に期末にかけては新型コロナウイルス感染拡大の影響により国内外ともに需要が大きく落ち込みました。

かかる中、わが社の売上高は前年比11%減の259億50百万円、経常利益は同76%減の2億85百万円(速報ベース)となりました。

設備投資の面では、高付加価値化、生産性の向上を目指し、十四山工場に新ピーリングマシンを設置完了(2020年5月)、また知多工場では太物用の新13号伸線機の設置工事が始まり、8月に完了予定です。

	単体決算		連結決算 (5社の単純合算※)
	計画	実績	
売上高	28,391百万円	25,950百万円	33,891百万円
売上総利益	2,389百万円	1,832百万円	3,648百万円
営業利益	804百万円	288百万円	541百万円
経常利益	740百万円	285百万円	531百万円

※5社=宮崎精鋼、交邦磨棒鋼センター、東洋精鋼、宮崎エンジニアリング、ミヤザキセイコウ・デ・メヒコ

2020年度の計画

単体では、売上高は前年ほぼ横ばいの260億76百万円、経常利益は2億15百万円増の5億円、連結ベース(単純合算)では売上高340億66百万円、経常利益7億15百万円を計画しています。年度前半は新型コロナウイルス感染拡大の影響により前年同期を大幅に下回りますが、後半は需要の回復を受け、コロナ以前の状態までほぼ回復する計画としています。

今年度は新中期経営計画CC21(Change & Challenge to 2021)の2年目となります。CC21で設定した目標が残る2年間で達成できるよう、まずはこの1年間、社員一丸となって取り組みましょう。

2020年度計画	全社	磨棒鋼管	線材	スラグ
販売量	157,138t	32,975t	112,160t	12,003t
売上高	26,076百万円	5,432百万円	17,358百万円	3,286百万円
売上総利益	2,065百万円	440百万円	1,275百万円	350百万円
営業利益	565百万円	66百万円	321百万円	178百万円
経常利益	500百万円	35百万円	290百万円	175百万円

